

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	4企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃぼっくすよろづや		団体ウェブサイトURL
	株式会社BOX4628		<a href="http://box4628.jp/">http://box4628.jp/</a>
代表者職・氏名	代表取締役・滝沢直也		
制作団体所在地	〒 171-0014	最寄り駅(バス停)	東京メロ 要町
	東京都豊島区池袋3-1-12-702		
電話番号	03-6907-0569		
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじんぜんちくきょうげんかい		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人善竹狂言会		<a href="https://www.kyogen.tokyo/">https://www.kyogen.tokyo/</a>
代表者職・氏名	代表理事・善竹大二郎		
公演団体所在地	〒 153-0041	最寄り駅(バス停)	駒場東大前
	東京都目黒区駒場1丁目16番13号		
制作団体 設立年月	2015年 4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役:滝沢直也 取締役:榎本かおり、岡本雅人 顧問・相談役:織田紘二	役員3名 監査役1名 事務局員5名 ※当団体の活動に賛同し伝統芸能に携わる実演家および関係者、舞台スタッフ	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	榎本かおり
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	税理士 大塚康正
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:box4628_nk@yahoo.co.jp">box4628 nk@yahoo.co.jp</a>		

制作団体沿革	<p>2013年 制作会社BOX4628として発足、現住所に所在地を置く  2015年 法人格を取得、株式会社BOX4628  2015年 日本財団主催による「こっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める  2017年「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2018年「平成30年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2019年「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2020年「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」  2021年「令和3年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択(2団体)  沖縄伝統組踊「子の会」、一般社団法人善竹狂言事務所  2022年「令和4年度文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」</p>			
学校等における公演実績	<p>2013年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」6校、「落語教室」6校  2014年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」4校「落語教室」10校  2015年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」5校「落語教室」10校  2016年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」3校  2017年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」35校  2018年 組踊鑑賞会「執心鐘入」15校、「狂言教室」27校  2019年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」16校  2020年 組踊鑑賞会「執心鐘入」8校、「狂言教室」10校</p>			
特別支援学校等における公演実績	<p>2016年 「組踊鑑賞会」 1校</p>			
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有		
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/rD0-MJ2kiSQ">https://youtu.be/rD0-MJ2kiSQ</a>		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
		PW:		

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人善竹狂言会 】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	はじめての能楽、狂言師にチャレンジ			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1.ごあいさつ、能楽の紹介、●能楽クイズ、●鏡板の塗絵を紹介  2.狂言「盆山」 あらすじと見どころ・ポイントを紹介  3.「盆山」上演 ○鑑賞曲目  4.●装束着付・小道具体験  5.能「羽衣」装束着付の紹介 ●羽衣の面をかける体験 ●かずに触れる体験  あらすじと見どころ・ポイントを紹介  6.「羽衣」上演 ○鑑賞曲目  7.狂言「菌」 あらすじと見どころ・ポイントを紹介 ●菌の面をかける体験  8.「菌」上演 ●共演曲目  9.共演児童・生徒のカーテンコール、感想発表  ※●は、児童・生徒の共演、参加又は体験の演目となります  ※○は、鑑賞演目となります。</p> <p style="text-align: right;">※別添:本公演プログラム参照</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	○狂言「盆山」は、ある男が、知り合いの屋敷に盆山を盗みにはいると屋敷の主人に見つかります。腹の立った屋敷の主人は、その男を懲らしめようと考えます。さあ何をして懲らしめるのでしょうか。○能「羽衣」は、漁師から衣を返してもらった天女が、羽衣を身にまとい、夕映えの遠くの山を眺めるさま、国土と人々を祝福して宝を降らすさまなどを舞います。世の天下泰平の願いが込められています。○狂言「菌」は、ある男の家に大きな菌が生えて、取っても一夜のうちに生えて気味が悪いので、男は山伏を訪ねて祈禱を頼みます。さて菌を取り払うことが出来るでしょうか。			
演目選択理由	○能「羽衣」は、能の曲目の中でも、非常に洗練された作品です。中学生の音楽の教科書に教材掲載がされていることから、教育性が高く、また実演芸術を見ることで、奥行きのある立体的な教育に貢献できると考えます。 ○大蔵流狂言「盆山」と「菌」。鑑賞曲目として「盆山」、児童・生徒共演曲目として「菌」と分けることに致しました。 喜劇性、笑いが多くあり、2名の登場人物の台詞のやりとりで進んでいく狂言を2番取り入れることで、物語のあらすじを理解しやすく、初めての能楽鑑賞が「分からないから難しい」といった、先入観や観念を取り払うために、楽しく、鑑賞しやすいプログラムと致しました。これら教育的価値の含まれる演目を、実演とレクチャー通して、分かりやすく興味を持って鑑賞できると考えます。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>●能楽クイズは、本公演の初めに、能楽の基礎知識となるクイズをお出して、鑑賞者全員が参加いただけます。</li> <li>●鏡板の塗絵紹介は、共演演目「菌」に参加できなかった児童・生徒方を中心に参加していただき、会場の舞台装飾とします。</li> <li>●装束着付・小道具体験は、代表児童・生徒が袴着付をし「盆山」で使われる小道具を持ち、構えを披露してもらいます。</li> <li>●「羽衣」の面を付ける体験は、代表児童・生徒が「羽衣」で使われる面をかけて、舞台上で歩みをしてみましょう。</li> <li>●かずに触れる体験は、鑑賞児童・生徒が、「羽衣」で使われるかずに、手で直接触れていただきます。</li> <li>●「菌」の面をかける体験は、鑑賞児童・生徒が、「菌」の登場人物、鬼菌がかける面をかけて、舞台上で歩みをしてみましょう。</li> <li>●狂言「菌」は、代表児童・生徒と実演家の共演となります。足には足袋を履き、衣裳を着て登場してもらいます。</li> </ul>			
出演者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●能楽師 大蔵流狂言方 一般社団法人善竹狂言会 善竹十郎、善竹大二郎、野島伸仁、川野誠一、前田侑太郎、岩崎孝次、ほか</li> <li>●能楽師 シテ方 ・観世流 ・金春流 ※いずれかの流派からとなります</li> </ul>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 12 名	運搬	積載量: 2 t	
	スタッフ: 7 名		車長: 4.7 m	
	合計: 19 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時30分前後	9時30分～11時30分	13時30分～15時	10分	15時～16時	16時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	15日	15日	0日	15日	15日	
	11月	12月	1月	計	105日	
	15日	15日	15日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	
		鑑賞人数目安	

体育館のフロアを舞台として使用した状態



舞台、左側から見た様子

(上の写真)

フロアの正面に、鏡板のパネルを立てます。  
フロアの右側にスクリーンを立てます。  
フロアの左側に揚幕を立てます。



舞台、右側から見た様子

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 一般社団法人善竹狂言会 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	100名程度
ワークショップ実施形態及び内容	<p>◆ワークショップをスタートする前の準備。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場内に簡易な能舞台を準備します。柱を4本と一二三の松を立てます。</li> <li>・ホワイトボード(黒板)にワークシートやテキストを付けておきます。</li> <li>・指導者が、紋付袴に着替えて、児童・生徒をお迎えます。</li> </ul> <p>●1単位目(1コマ) 時間40～45分(①～④)</p> <p>①ご挨拶、本事業についてと、能と狂言のお話し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が名前と役割などを紹介します。</li> <li>・本事業の紹介と、ワークショップで学んでいただくことを、プログラム順にご案内いたします。</li> </ul> <p>②狂言、小舞の実演と、狂言の3つの柱のお話し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小舞を鑑賞していただきます。</li> <li>・3つの柱、「謡」、「舞」、「語り」を実演を交えて、ご紹介します。</li> <li>・児童・生徒さんは、その場で、小舞を体験してみましょう。</li> </ul> <p>③狂言師の修行を体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立居(所作) 立ったり、座ったり、立居振る舞い。</li> <li>・構え(姿勢) 男性や女性、鬼の役柄で構え分けをします。</li> <li>・運び(摺り足) 男性や女性、鬼の役柄で運び分けをします。</li> <li>・演技(感情を表現) 泣き、笑い、怒りを表現します。</li> <li>・演技(生活の様子を表現) 食べる、飲む、眠るを表現します。</li> <li>・演技(擬音による表現) 石を投げる、動物の鳴き声を表現します。</li> </ul> <p>④本公演で上演される演目、「盆山」「羽衣」「菌」のあらすじをご紹介します</p> <p>⑤ワークショップの振りかえりと、質問や感想をお聞きかせください</p> <p>●2単位目(1コマ) 時間40～45分(⑥⑦)</p> <p>⑥代表児童・生徒の皆さんが、共演演目「菌」の練習の時間となります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表児童・生徒は、足袋を履いてもらいます。</li> <li>・菌のあらすじをお話しします。</li> <li>・演じる役柄や体の使い方、動き方、発声など練習します。</li> <li>・菌のあらすじに沿って、リハーサルを行います。</li> </ul> <p>⑦ワークショップの振りかえりと、質問や感想をお聞きかせください</p> <p style="text-align: right;">※別添:ワークショップ内容参照</p>		
ワークショップのねらい	<p>能楽の源は平安・鎌倉時代の猿楽にあります。室町時代からおおよそ650年以上、途絶えることなく演じられてきた、日本を代表する舞台芸術、能楽に児童・生徒が、初めて触れる貴重な機会となることでしょうか。このワークショップでのレクチャーや体験を通して、楽しみながら能楽に親しんでもらいたいと考えております。</p> <p>①能と狂言の歴史や芸術的価値をお伝えした上で、②狂言小舞の実演と、狂言の3つの柱のお話しでは、小舞を鑑賞していただき、その場で児童・生徒さんに体験してもらいます。そうすることで、初めて狂言を鑑賞する為の手がかりや、鑑賞のポイントを知ることが出来るのではと考えます。③狂言師の修業体験では、狂言師が身につける基礎的な技術や表現方法を体験してもらうことで、こうした厳しい身体訓練と技術の習得、多くの修練と経験が必要であることをお伝えできると思うのです。④本公演で上演される演目、「盆山」「羽衣」「菌」のあらすじ紹介では、演目のあらすじを即興演劇で紹介することで、本公演の鑑賞能力の向上に繋がりたいと考えます。⑤振りかえりでは、児童・生徒さんが反芻する時間を作ります。ワークショップで見て、聞いて、触れて、感じて、話したことなどを思い出してもらうことで、感性を育むことに繋がると考えます。⑥代表児童・生徒の皆さんが、共演演目「菌」の練習では、自主性、主体性と想像力を育むことに繋がりたいと考えます。このような独自の格調のある明朗洒脱な科白劇、狂言のワークショップを行うことで、文化的な地域格差の解消促進に繋がると思うのです。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>・本公演までに、鏡板の塗り絵に色を塗りましょう。本公演の際に舞台美術として、会場に装飾致します。(授業時間などに差し支えない程度で取り組んでみてください)</p> <p>国立能楽堂  <a href="https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html">https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html</a></p> <p>独立行政法人 日本芸術文化振興会 文化デジタルライブラリー  <a href="https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/modules/learn/#c2">https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/modules/learn/#c2</a></p> <p>公益財団法人 能楽協会  <a href="https://www.nohgaku.or.jp/">https://www.nohgaku.or.jp/</a></p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 一般社団法人善竹狂言会 】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>世界は、人、物、情報、経済のグローバル化が加速し進展しています。またITの急激な進歩、普及により、先進国はもとより開発途上国も大きな変化が起きている時代です。そうしたことでグローバル化によるメリットや課題も多くあります。</p> <p>本事業の実施対象の、児童・生徒、教職員及び保護者の周辺には、多くの社会問題また教育問題があります。社会問題には、貧困、少子高齢化、人材・後継者不足、介護問題、ヤングケアラー、地域格差などがあります。教育問題には、いじめ、引きこもり、教育格差、学力低下、教員不足などがあります。</p> <p>こうした時代に、私共は本事業に於いて、使命感、責任感を持ち、教育現場における感度を共有し、広い視野を持って取り組むことが大変重要だと考えます。</p> <p>実施対象の、児童・生徒、教職員及び保護者は、日本の伝統芸能である琉球舞踊と組踊を、初めて観て、聞いて、体験する機会となります。それは重要なことと思うのです。なぜなら本事業を通して、文化的な地域格差の解消を促進に繋がると考えます。</p> <p>人生に於いて、二度と観ることが無いかもしれません。</p> <p>そこで重要なことは、公演団体、制作団体がワークショップ、本公演を、どのようなものと考え、取り組むかです。それは一人でも多くの児童・生徒さん、学校関係者、保護者や近隣の皆さんに親しみを持って、寄り添い、能、狂言の素晴らしさ、楽しさ、魅力をお届けすると共に、日本の芸能に於いて、芸術上特に価値が高いものであることを、お伝えすることと考えます。そうした取り組みが、豊かな感性を育み、芸術鑑賞能力の向上、また未来の実演家の育成にも繋がると思うのです。</p> <p>ワークショップでは、制作団体と公演団体が、充実した時間となるよう、工夫してプログラムをお送りします。本公演へ繋げる事前学習の場とし、本公演を鑑賞する為の手がかりや、ポイントをお伝えします。また実技指導や共演の練習では、コミュニケーションを積極的にはかり、身近に能と狂言を感じていただけるよう取り組みます。</p> <p>本公演では、実演家に於いては、日々努力研鑽した成果を表現すると共に、芸能への姿勢をあらためて正し、芸格が向上するよう取り組むべきであると思うのです。</p> <p>また、公演団体は必ず事前リハーサルの時間を設けます。そこに私共、制作団体が立ち会い、事業に取り組む姿勢を、共有し再確認致します。</p> <p>日本独自の伝統芸能を鑑賞し体験・参加することで、日本人のアイデンティティの形成と、教養基盤構築の一助に繋がりたいとも考えます。</p> <p>私共、制作団体は、教育現場における環境や状況を考慮し、教職員の方々と共有させていただき、謙虚に真摯な姿勢で、一般社団法人善竹狂言会と共に、株式会社BOX4628は取り組みさせて頂きたく存じます。</p>
	<p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催校が決まりましたら 制作団体、公演団体の情報や、公演内容を早く理解していただくために、資料などをメールで送らせて頂きます。教員内、学校内の周知にご利用下さい。</li> <li>・実施校とのワークショップ、本公演までの事前の推進業務にあたり、私共との連絡方法として、固定電話、携帯電話、メールなどで速やかに対応致します。</li> <li>・本事業の実施が初めての学校には、本事業のご説明、ご案内なども丁寧に行います。また、ワークショップ、本公演に至るまでのスケジュールについても詳しくご案内いたします。</li> <li>・ワークショップから本公演開催日までの、事前学習として、能、狂言に関する情報の掲載されている、公共のホームページなどもご案内いたします。</li> </ul> <p>以上が、本事業に対する取り組み姿勢、および効果的かつ円滑に実施するための工夫でございます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。</p>

リンク先

No.2

【公演団体名

一般社団法人善竹狂言会

】

## 本公演プログラム

1. ごあいさつ、能楽の紹介

2. 狂言「盆山」あらすじと  
見どころポイントを紹介

3. 狂言「盆山」

4. 装束着付・小道具体験

5. 能「羽衣」  
装束着付の紹介  
羽衣の面を掛ける体験  
かずらに触れる体験  
あらすじと見どころ  
ポイントを紹介

6. 能「羽衣」

7. 狂言「菌」あらすじと  
見どころポイントを紹介

8. 狂言「菌」

9. 共演児童・生徒の  
カーテンコール  
感想発表狂言「盆山」上演のシーン  
ある男と屋敷の主人

羽衣の衣装を着ける様子

面を付け歩く体験をする  
児童・生徒狂言「菌」  
児童・生徒との共演シーン

本公演プログラム